

＜ 『攻めの農業』を進め地域の笑顔を支えるために ＞

きよかわにき

清川二期地区



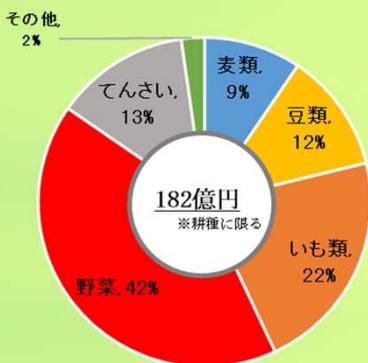
清川二期地区

＞ 地域の概況

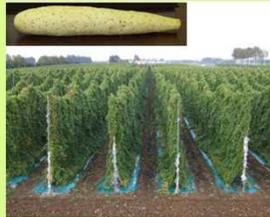
本地域では、小麦・ばれいしょ・てんさい・豆類（大豆・小豆）・スイートコーン・ながいも・たまねぎ等を組み合わせた畑作経営のほか、飼料作物を栽培し乳用牛を飼養する酪農経営が展開されている。農作物生産において「ばれいしょ」については、作付面積が全国第1位であり、「ながいも」「小豆」は作付面積全国第2位、「スイートコーン」は全道第3位の作付面積を誇っている。

地域で生産される「ながいも」は、本地区に係るJA帯広かわにしを主体とした「十勝川西長いも運営協議会（十勝管内10JAが参加）」により、全国への出荷に加え、海外への輸出も開始（H11～）しており、当初は台湾のみに輸出を行っていたが、現在ではアメリカ合衆国、シンガポール等へも輸出を行っている。

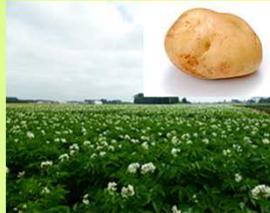
■ 帯広市の農業産出額



資料：市町村別農業産出額（推計）



ながいもの収穫



ばれいしょの収穫



十勝川西長いも出荷用ダンボール
〔青：国内用〕
〔赤白：輸出用〕

＞ 地区の現状と課題

地区内の排水施設は、直轄明渠排水事業「清川地区」（昭和50～平成3年度）により整備されたが、降雨条件の変化に伴う流出量の増加により排水能力が不足し、農地への湛水被害が発生しており、農業生産性が低下している。



【排水路の溢水状況(H28)】



【スイートコーンの湛水被害状況(H28)】



➤ 事業構想

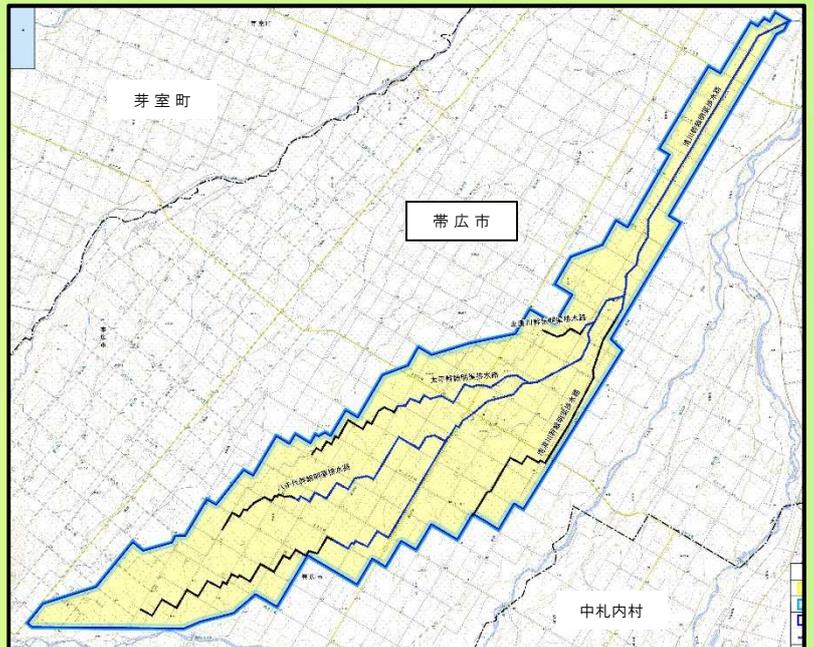
■ 事業目的

本地区の排水施設は、直轄明渠排水事業「清川地区」（昭和50年度～平成3年度）より整備されたが、降雨条件の変化に伴う流出量の増加により排水能力が不足し、農地への湛水被害が発生しており、農業生産性が低下している。

このため、本事業では、排水路の整備を行い、農地の湛水被害の解消及び維持管理の軽減を図り、農業生産性の向上及び農業経営の安定に資するものである。

■ 事業構想

排水路整備を行い、施設機能の向上を図る。



施設の造成完了から**30年以上**が経過
(直轄明渠排水事業 清川地区 S50～H3)



近年は降雨条件の変化に伴い流出量が増加



- 湛水被害の発生
- 高収益作物の生産拡大が困難



このため、本事業で排水路を改修し湛水被害の解消を図り、農業生産性の向上、農業経営の安定を図る。



排水路改修(イメージ)



広域ブランドである長芋の作付け増

➤ 事業計画概要

- 受益面積 : 2,650ha (畑: 2,650ha)
- 関係市町村 : 帯広市
- 受益戸数 : 122戸
- 主要工事 : 排水路(改修)5条 L=22.1km
- 主要作物 : 小麦、ばれいしょ、てんさい、大豆、小豆、スイートコーン
ながいも、たまねぎ、飼料作物

